

中国語ならびに韓国語翻訳用邦文案

根之国試練（ねのくにしれん）

大国主命（おおくにぬし）という神様がいます。日本で一番人気の高い神様だと思います。この神様は農業の神であり、商売の神であり、国造りの神様として知られ、経営の神様です。また、縁結びの神様です。

神楽演目は、『古事記』、『日本書紀』という古代の「歴史書」に書かれている「神話」を題材としています。

この神楽演目の名称は「根之国試練」です。根之国とは、私達の世界（中津国）とは異なった世界です。高天原と同じように、中津国に暮らす私達とはまったく違った世界だと想像してください。

この神楽演目は大国主命（おおくにぬし）の青年時代の物語りです。

01：大国主（おおくにぬし）は、八人兄弟の末っ子です。いつも兄から迫害を受けていました。兄たちは、大国主を殺そうといろいろな策略を練っていました。大国主（おおくにぬし）は、兄たちからの迫害を避けるために、根之国を訪問します。

02：根之国に逃げた大国主（おおくにぬし）。彼の青年時代の名前は大穴牟遲命（おおなむち）といました。彼は早速に、須佐之男命（すさのお）の家を訪ねます。

03：応対したのは、須勢理姫（すぜりひめ）です。美しい姫です。おそらく、大穴牟遲（おおなむち）も美男子だったと想像されます。彼女は、すっかり彼を気に入ります。

04：しかし、彼女の父親である須佐之男（すさのお）は結婚することに反対でした。その理由は、大穴牟遲（おおなむち）を強い男だと思わなかったからです。

05：彼女の父親は青年に試練を与えることを決意しました。青年が試練を乗り越えたら、結婚を許そうと父親は考えていました。

06：青年は姫の助けを借りて、さらには天の使いである鼠の力を借りて、見事に試練を乗り越えます。

07：父親は娘と青年の結婚を許すことにしました。父親は大穴牟遲（おおなむち）が試練を乗り越えたことに満足していました。

08：祝宴の場で、父は酒を呑み過ぎて眠ってしまいました。二人は、父が眠っている間に、根之国から脱出しようと考えました。

09：父が大切にしている、弓、太刀、琴を取って出雲の国に向かって脱出します。

10：脱出に気が付いた父親は大事な宝物と娘を奪われたので、怒ります。しかし、途中で二人の前途を祝福する気持ちに変化します。父親は、青年に向か

い、これからは、大国主命（おおくにぬし）と名乗れと、励まします。父親は若い二人の未来を応援しながら、根之国から見送ります。